

つながるころろ ちからをあわせ はじけるえがお しあわせいっぱい



# つちはし



## ごかん ものごと かん 五感で物事を感じることに

かわさきしりつつちはししょうがっこうこうちよう よしの あきこ  
川崎市立土橋小学校校長 吉野 晶子

いちねん もっと さむ きせつ だいかん わか ことし だいかん がつはつか がつふつか  
一年で最も寒い季節とされる「大寒」を迎えています。今年の大寒は1月20日から2月2日までとの  
ことで、冬の厳しい寒さはもうしばらく続きそうです。朝、正門に立っていると「校長先生!見て!」と通学路  
で見つけた様々なものを子供たちが届けてくれます。季節の草花や木の実などの他に、この季節には氷  
や霜柱を大事そうに持って来てくれることも多いです。このところ比較的暖かい日が続いており、氷や  
霜柱ができることが少ないようにも感じています。冬と春との季節の分かれ目である「節分」が今年2  
月2日です。その翌日、2月3日には「立春」を迎え、いよいよ暦の上では春の訪れとなります。気温が上  
がり、体感的にも「春」を感じられる日を楽しみに過ごしたいと思ひます。

まいとし しんねん ほんこう きんむ しせつかんりん こども み ふるさと  
毎年、新年になると、本校に勤務している施設管理員さんが子供たちに見せてあげて欲しいと故郷で  
「晩白柚」を手に入れて来てくださいます。晩白柚は熊本県の八代地方の特産物で、世界最大の柑橘類  
としてギネス登録もされているそうです。私も土橋小学校に来て初めて実物を拝見することができました。  
流通の数がそれほど多くないため、手に入れるのも難しくなっているそうですが、今年も大きな晩白柚を  
届けていただくことができました。朝会で紹介した後、校長室前に展示していますが、各々に皮を触ったり、  
香りをかいだり、持ち上げたりと子供たちが興味をもって見に来ている様子が見られます。そして、その  
反応の様子を校長室から見るのが私の愉しみでもあります。技術が進み、映像やバーチャルでの体験が  
可能になってきている世の中ではありますが、こうした子供たちの様子を見てみると、「五感を働かせる」  
という言葉のように、実物に触れ、五感で物事を感じることの大切さを改めて感じています。

ふゆやす あ こうしゃない かくきょうしつ ろうか しょうめい こうかん さぎょう おこな たいいくかんなど  
さて、冬休み明けから校舎内の各教室や廊下の照明を LED に交換する作業が行われ、体育館等の  
一部を除いてほぼ交換が済んだところです。他の学校に比べると本校の校舎はガラスを多く使用しており、  
もともと明るいなど感じていましたが、LED に交換されてその明るさの変化に大変驚きました。保護者の  
皆様も懇談会等で学校へお越しの際は、その違いを感じていただけるのではないかと思います。

がつ は「いく」、2月は「にげる」、3月は「さる」といわれるこの時期です。「にげる」2月となり、あつとい  
う間に過ぎてしまう毎日だと思ひますが、残り少なくなってきた今年度の教育活動を一日一日大切に行  
ってまいりたいと思ひます。今後とも引き続き本校へのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。